

地域福祉の拠点 分室から本館へ

宮田 泰子 (神戸YWCA 会員)

神戸YWCAは2022年3月をもって分室を貸主にお返しし、4月より分室の活動は二宮町の本館に移ることになりました。決して広くない本館にどれだけの物が入るのかを心配しながらも、それぞれのグループでは移転の準備を進めています。

1995年、阪神淡路大震災直後、上筒井通にあった神戸YWCAでは、全国のYWCA、ボランティアの方々などの支援によって「救援センター」を置き、活動を始めました。一被災者として、被災した街や人々との体験を通して私たちのなすべきことが与えられ、従来の事業が大きく変化していきました。そして、「現場からの発想と視点」で地域福祉活動が本格的にスタートしました。

2001年、神戸YWCAは上筒井から現在の二宮町に移転が決定。それと同時に幸い旧会館に近い坂口通の旧渡辺小児科の建物を「分室」として使わせていただけることになり、地域に根ざした活動を継続することができました。一人暮らしの高齢者への配食サービス「わいわいランチ」、「わいわいデイルーム」、野宿したくない人が野宿しなくても済むように、野宿せざるを得ない人の人権が守られるように活動する「夜回り準備会」、ひきこもり防止と仲間づくりのため市営住宅での「弓の木歌の集い」など、震災を契機に生まれたグループが活動を始めました。また、子育て支援の「ちゃいやあらんど」、会食サービスの「わいわい亭」、障がいをもつ子どもと親のための「そらとぶうさぎ」、介護予防を目的とした生きがい対応型デイサービス「わいわいデイルーム」、地域の小学生対象の「理科実験工作教室」、若年性認知症当事者と仲間たちの「カフェもぐもぐ」、地域のつどい場「木曜カフェ」などの新しい



グループも次々に誕生し、神戸YWCA分室は地域福祉の拠点となっていきました。

それぞれグループの活動は違っていても、分室は神戸YWCAが目ざす「一人ひとりが大切にされる社会」の実現という共通の思いによって存在していました。多くのボランティアに支えられ、赤ちゃんから高齢者まで多世代の人たちが集う賑やかな場所となりました。

2020年12月、貸主と契約更新について話し合いを始めました。理事会で議論を重ねた結果、全ての事業と会員活動を本館に集め、再出発することにしました。

この21年間、分室の活動はたくさんの方々によって育たれ、地域の人々に生かされた年月でした。分室から本館までは歩いて20分です。活動の拠点は本館に移りますが、分室でのつながりがなくなるわけではありません。本館でもより多くの人と出会い、新たな活動が生まれることを期待します。

神戸YWCAのあゆみを考える時、そこにはいつも神様の導きがあったように思います。そして、これからも神様と人に喜ばれる地域福祉活動をめざして、祈りつつ始めたいと願っています。

進捗報告会

～新組織の振り返りとこれから

今年度より「平和と人権センター」のもと動き出した、3つの委員会と5つのプロジェクト。「問い直し」ができる組織になっていきたいとの思いから、会員全体で各プロジェクトの活動を振り返る新組織進捗報告会を11月27日（土）に実施し、15人が参加しました。

この会は、新組織体制の再確認、活動報告、分室終了のお知らせの3部構成としました。

活動報告では、3回にわたって韓国の民主化の歴史や現状の理解を深めるプログラムを開催した「韓国市民社会を知り、日本市民社会を考えるプロジェクト」、生と死という難しいテーマで茶話会を実施した「QOL向上プロジェクト」、放射能被災下の家族を迎えるセカンドハウスが西明

石から東灘へ移る等変化のあった「神福のはしごプロジェクト」、ユースが神戸YWCAの活動に単発的に関わるプログラムを企画した「旅人ユースプロジェクト」、子どもたちによって企画実施されたアナログゲーム大会をサポートした「こどもいいんかい」から、立ち上げの構想・成果が発表されました。初めての試みの中、広報のしかた、人や活動の力が分散していること、が課題として挙げられました。

今後は、改めて神戸YWCAのミッションを会員全体で共有しながら、実際に動き出したことで見えてきた課題と向き合い、意義と楽しさを感じられるような会員活動となるように仕組みづくりを進めていきます。

（福田 百）

「生と死」を考えた オンライン茶話会



くらしといのちの質を高める活動をめざす「QOL向上プロジェクト（環境・暮らし委員会）」は、「生と死」について3回シリーズで、12月と1月に「オンライン茶話会」を開催しました。夜の19時30分～20時30分の1時間を、和やかに温かいひと時を過ごすことができました。

第1回は、「この世に遺したいもの」をテーマに9人でおしゃべり。参加者の多くは「残すものはない」と。使わなくなったものを使ってくれる人へ譲り渡したり、ゴミを作り出さない、という素敵なお話を聞くこともできました。第2回は、書籍『たましいのケア』の感想シェア会に7人が参加。著者の藤井美和さんは、自身の病気体験から感じたことを書かれていてとても迫力があり、感想会も実りあるものになりました。「遺された者には、先立つ者からの感謝の言葉が支えや慰めになるので、大切に伝えていきたい」という感想が印象的でした。

3回目は、「最期のおやつ」をテーマに1月28日に実施。（金本 みつこ）

テーマ
プロジェクト

世界・社会

韓国市民社会を知り、日本市民社会を考える

環境・くらし

QOL 向上

こうふく
神福のはしご

ユース・
エンパワ
メント

旅人ユース

こども
いいんかい

まごの手ヘルパー徒然記

まごの手には3人の男性ヘルパーがいる。いずれもベテランで、真面目で利用者思いの優しい方々だ。私はサービス提供責任者としてヘルパー手配をしているのだが、新規でヘルパーが男性のときに限って、「男性ヘルパーが行きます」と言っている。女性のときと同じように、性については言わないようにしましょうかと思ったこともあるが、言

わずに手配して、いざヘルパーが現場に入ったときに「男性は嫌だ、代えて」と利用者に言われたらどうしよう、とつい思ってしまう。実際に、「男性に家事をやってもらうのはちょっとねえ…」や、「男性と2人きりで過ごすのは嫌だ」といった理由で断る利用者もいるし、「女性がいいですね」と断るケアマネジャーもいる。その一方



で、実際派遣した先の利用者からは「親切で気軽に頼みやすい」と喜んでもらっている。

1対1、他の目が入らない空間で仕事をするため、ヘルパーは気遣いを要する職業である。「男性」「女性」である故に貼られるレッテルを抱えつつ、ヘルパーは利用者宅を訪問している。そして私たちは、利用者・ヘルパー双方に負担の少ないサービス運営を、常に手探りで考えている。

（まごの手職員・藤井 かえ子）

もっと知りたい!

街なか養蜂

12月18日(土)、養蜂コンサルタントの春井勝さんを招きお話を伺った。参加者は会場13人、オンライン5人。

「街なか養蜂」という聞き慣れないことばを『神戸YWCA機関紙10・11月号』で初めて紹介した。人里離れた山間部ではなく、あえて都会でミツバチを飼い蜂蜜を採ることのメリットについて書いてくださったが、さらに、ミツバチの生態と植物との関係、農薬の問題、蜂蜜の性質などについて、詳しく話してもらった。巣箱を一定の場所に置き、周りで咲く季節の花で蜜を集める都会の養蜂は一見難しそうに思うが不可能では



ないことがわかり、都会での「田舎暮らし」に希望が見えたような気がした。

蜜蝋に関心のある教会の方、山間部でニホンミツバチを飼っているがうまくいかないという方、アーバンファームに関心のある大学生など、様々な参加者の質問にも詳しく答えていただいた。また、観察用の巣箱も登場し、ミツバチの様子を実際に見ることができた。

(秋月 啓子)

ジェンダーグループ

私たちの中に潜む、刷り込まれた「女性」という意識。それに気づくことが互いを尊重できる社会につながるのではと考えて活動している。

2021年度は元町映画館からのメンバー参加もあって、映画の感想シェア会をオンラインで3回催した。子どもの性的な扱われ方を鋭く追及した『SNS—少女たちの10日間』、韓国の女性労働者の問題を扱った『サムジンカンパニー1995』、そして家事について改めて考えた『<主婦>の学校』。各回、会員以外からの参加者が多く、充実した意見交換ができた。

次年度も様々なジェンダーの課題について考えていきたい。

(斎藤 明子)

わいわい食事会

12月の例会を12月17日(金)に分室で開き、17人が集まりました。最初に、キリスト教基盤委員会製作の動画「みんなで祝うクリスマス」を視聴。第1部のクリスマスメッセージに続き、第2部では、神戸YWCAのグループが紹介され、初めて知る仲間たちの活動風景に目を凝らし、親しみと連帯感を覚えました。

次に、橋本静子さんのピアノ伴奏で、この日は讃美歌を歌い、クリス



マスを迎える喜びを共有することができました。

メインの食事には、手づくりの唐揚げや、神戸YWCA伝統のレシピで作られたりんごケーキなどの差し入れもあり、感謝していただきました。

(三浦 啓子)

みんなで祝うクリスマス

対面でのクリスマス集会を行うことができませんでしたので、キリスト教基盤委員会で動画を作成し、12月20日～25日、YouTube配信をしてお祝いをしました。

(イラスト・澤村 典子)



日本YWCA 発行の2021年4月号に「神戸YWCA100年の歩み」が掲載されたのを読みました。これによると、丁度神戸YWCAが創立50年を迎える頃に、私は東京から神戸上筒井の地に転居してご縁ができたことになりました。バザーや講演会に誘われストーリーテリングや声の奉仕活動とボランティア活動を通して様々な学びがあり、会員活動を通してYWCAの精神をくみ取り、他市YWCAの方々や日本YWCAの方々とも繋がりを得ることができました。神戸YWCAが100周年を迎えたということは、気がつけば私も50年共に活動に関わったということになります。また阪神淡路大震災のときは、各地のYWCA関係の方々にもご支援頂けたし、炊き出しや配食サービスの活動など多くのボランティア活動を通して、人として大切な学びを得ることができたことを感謝しています。さらに、日本YWCA企画の沖縄や広島の旅に参加し戦時中の悲惨さを少しでも知る者として、この平和な世界がいつまでも続くことを心から願っております。

(片山 恵)

神戸YWCAへの おさそい

神戸YWCA分室

神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

*新型コロナウイルスの影響により、予定が変更されることがあります。

●カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
2月5日(土)、3月5日(土) 10時30分～13時
参加費 700円(食事付)
要予約、詳細はお問い合わせください。

●わいわいデイルーム 分室

(神戸市地域拠点型一般介護予防事業)
毎週火曜日、10時～15時
利用についてはお近くのあんしんすこやかセン
ターにご相談ください。

●木曜カフェ 分室

2月10日(木)、24日(木) 14時～15時30分
レコードで懐かしい音楽を聴きながらほっこり
しませんか？(1ドリンク100円～)
*食料品の販売はありません。

●ちやいやあらんど 分室

ママと子どもたち(0歳～幼稚園前)のグループ。
2月16日(水) 11時～14時30分
参加費 300円(お茶・お菓子付き)

神戸YWCA分室 「感謝の会」

20年来、地域福祉活動の
拠点であった神戸YWCA
分室が2022年3月末に
閉館します。ささやかで
すが感謝の会を行いますの
で、どうぞご参加ください。

日時: **3月19日(土)**
11:00～11:30

場所: 神戸YWCA分室
内容: 思い出のスピーチ・
花束贈呈など

*コロナ禍のため、当日
は飲食などはありません。

■ 学院だより

月2回月曜日にプライベートで、岩崎講師によるピアノと発声・歌唱レッスンを行っている。声を出すためにまず顔や頭の筋肉をほぐす。表情も大切。身体も楽器のひとつなんだ、と実感する。
(文化教養コース・秋月 啓子)

■ まごの手だより

まごの手の訪問介護は、介護予防や生活援助を大切にしている。地域には独居高齢者が多い。専門性を持ったサービス提供責任者とヘルパーが、重度化を予防し、人生100年時代の高齢者の地域生活を支えている。

一方、会員ボランティア主体の助け合い活動「生活支援わいわい」は5月に施行開始してから、掃除、庭木の手入れ、外出同行等、これまで5人が利用、8人がサービス提供を行い、計13回稼働した。ニーズはある。

居住支援は、1月22日に「第3回居住支援フォーラム」を開催した。地域包括ケアの土台となるのが住まいの問題であり、地域との連携が必要だ。

これらピースを合わせ、社会の情勢を踏まえて、新たなまごの手ビジョンを構築する時期を迎えている。

(所長・寺内 真子)

■ 保育園だより

保育園の子どもたちは、自分がやりたい遊びを納得するまで遊び続けます。視線を床まで下げて腹ばいになって車を走らせている姿は、真剣そのものです。遮られたり、邪魔されたりしても、したいことをする自分を見守ってくれるのがわかっているの、安心して過ごさせているようです。
(園長・梅川 玲子)

■ 運営委員会報告

12月11日、第10回運営委員会開催(ハイブリッド)、出席6人【報告】●日本YWCA●LA●理事会●各委員会・グループの活動報告【議事】●11月27日組織進捗報告会(振り返りと今後)●日本YWCA主催 運営委員のためのワークショップ●運営委員会の2021年度活動報告と2022年度活動計画●2021年度定期会員集会●今後のスケジュール確認

1月8日、第11回運営委員会開催(ハイブリッド)、出席7人【報告】●日本YWCA●LA●理事会●各委員会・グループの活動報告【議事】●2021年度定期会員集会(組織進捗状況からの提案)●運営委員会2021年度活動報告と2022年度活動計画

(書記・岩切 幸子)

■ 理事会報告

12月18日、第6回理事会開催。出席理事7人、監事2人。検証委員会設立の件を協議承認。2022年度財政回復のための事業方針の件を協議、次回継続審議となった。

(総幹事・西本 玲子)

■ 賛助員

岩崎 妙子 岩村 義雄
釜田 睦子 (敬称略)

■ 編集後記

次々と変化していくウイルス。ウイルスと共にある私たちの生活はどう変わっていくのだろうか。
(H・N)

世界祈禱日 2022

日時 **3月4日(金)**
13:30～15:00

主題「イングランド、ウェールズ、北アイルランドからのメッセージ～わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている」

開催方法 日本基督教団神戸聖愛教会から
YouTube 配信

<https://youtu.be/U11dTxNu1nE>



© WDP EWN1



第102回神戸YWCA 定期会員集会

今回は対面での実施を予定しています。オンラインでの参加もご希望があれば受け付けますので、出欠ハガキにてお申し出ください。

【プログラム】

- 1 理事会報告
- 2 議事
(1) 2021年度活動報告・会計報告
(2) 2022年度活動計画案・予算案
(3) 運営委員・指名委員選出

3月12日(土)
10:00～12:30
神戸YWCA 会館
5階チャペル

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給198,100円～
パート 時給1,100～1,200円
登録型 時給1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



よい てん ご く
0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町2丁目13-2

URL: <http://sanosousai.com>